

# 健康経営の取組み成果検証について

当社では3つの課題を設定し、具体的施策を実行しています。  
その上で経年で分析を行い、成果の効果検証を実施しています。

## 実施① 生活習慣病などの疾病の健常者に対する発生予防

労働者全体の平均年齢が上昇していく中で、生活習慣病の疾病リスクを健常者が認知・理解したうえで、健康習慣の定着を組織的かつ継続的に図っていく。

### 施策

#### ①「健康100日プロジェクト」実施

従業員ひとりひとりが健康習慣定着に向けた目標を個別に設定したうえで、その進捗をチーム単位で競い合う施策を全従業員参加型で実施。

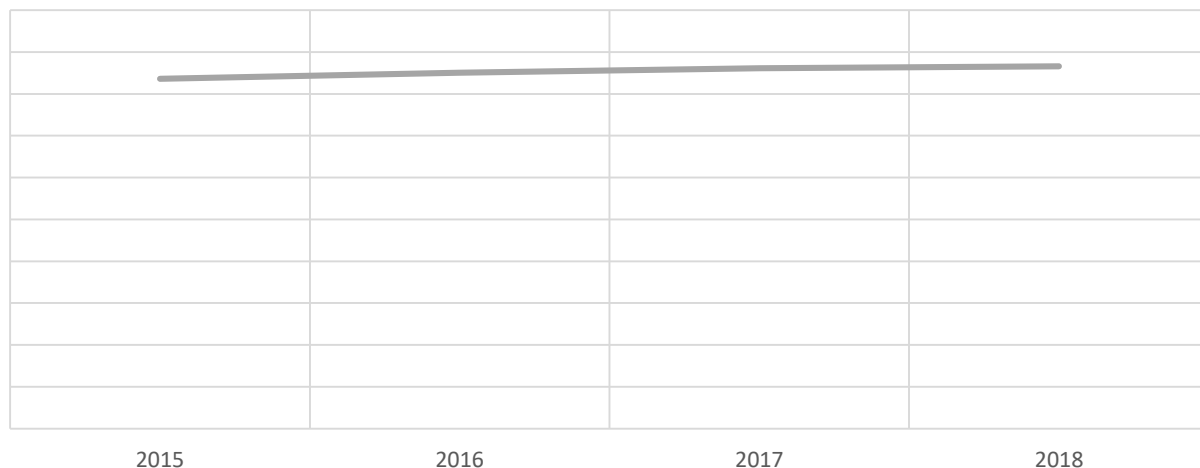
#### ②健康習慣に関するアンケートを実施

全従業員を対象に「健康への意識・行動」に関するアンケートとセミナーを実施し健康と生産性との関連性についての意識醸成と理解浸透を図った。

#### ③保健師との個別面談を設定

保健指導対象者は15分以上、特定保健指導対象者は40分以上、保健師との個別面談を実施し、所見の改善を促している。

定期健診所見率



## 実施②ストレス関連疾患の発生予防・早期発見・対応

社会や市場の変化とともに業務内容の変化や複雑化が進む中、従業員ひとりひとりがココロの健康に対する知識や技術を持つことの重要性が増しているため。

### 施策

#### ①「メンタルヘルス」に関するプログラムを社員研修へ導入

「メンタルヘルス」に関するプログラムを社員研修のカリキュラムに組み込んでおります。継続的に取り組むとともに、事後検証（アンケートなど）の上、プログラムを改善している。

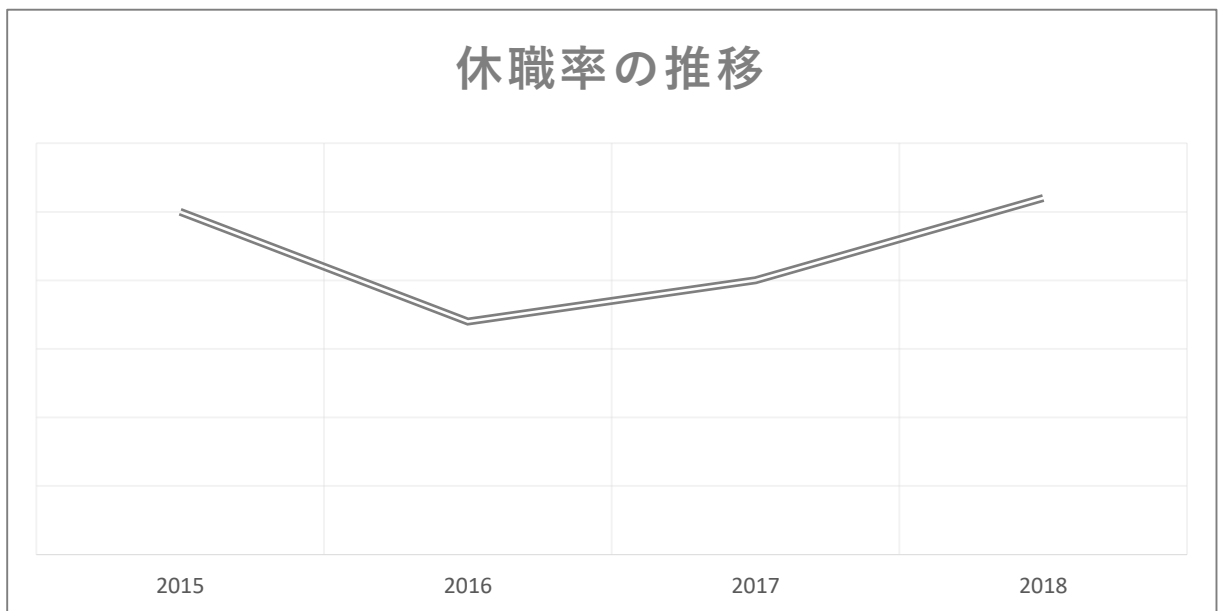
#### ②コミュニケーション活性化

従業員同士の相互理解促進に向けて社員旅行や社内インターンを実施しています。

#### ③業務効率改善に向けたプロジェクト発足

BPRのプロジェクトを組成し、業務量が拡大している部署や担当者の負荷を軽減させるためにBIツール導入や手順の見直しに取り組んでいる。

### 休職率の推移



## 実施③従業員の感染症予防（インフルエンザ予防接種率向上）

同居する親族や、高齢者の介護従事者が感染することで、家族が共倒れになることを予防します。また、インフルエンザ流行時期と当社の最繁忙期が重なるため、会社として社員の健康維持に取り組む（生産性を下がることを防止する）

### 施策

#### ①予防接種者に対するインセンティブ（ポイント）を提供

予防接種の奨励を実施し、実施者に対して社のインセンティブポイント制度にてポイントを付与しています。

#### ②感染予防品を社内に設置

咳エチケットのためのマスク配布や、アルコール除菌スプレーを配置しております。

#### ③従業員に対する教育

感染のリスクや予防策などリテラシー向上に向けた情報物制作（配布・掲示など）とその発信活動を継続的に実施（朝礼・会議など）する。

### インフルエンザ予防接種率の推移

